

2017年1月1日発行

きらきら基金にご協力いただいているみなさまへ

この桑名弁地域で市民活動が活発になり、自分たちで町をよくしていこうという意思のある方々を応援するために、きらきら基金で寄付の文化を根付かせ、市民活動に資金の流れを作ることに奮闘していた服部則仁さんが、昨年10月28日に永眠されました。

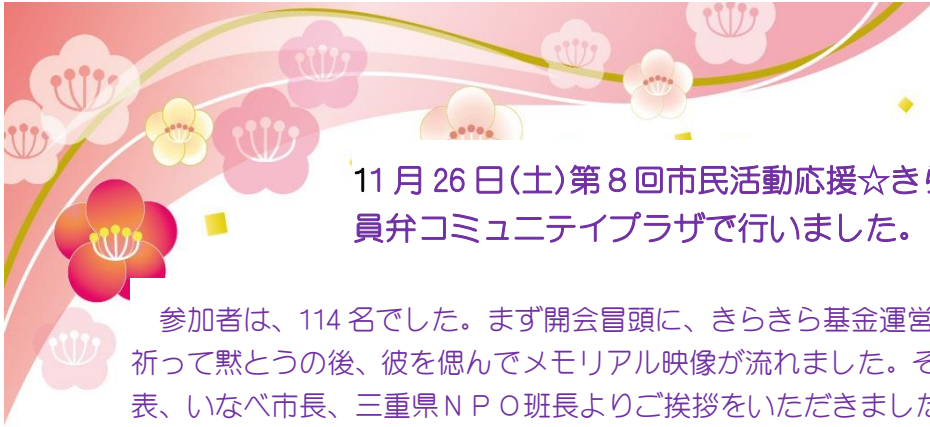
残された私たちきらきら基金運営委員会のメンバーは、彼の遺志を継いできらきら基金の事業を進めていきます。

きらきら基金は、みなさま、お一人おひとりに支えられて成り立っています。これからもいろいろな面でご支援ご協力をお願いいたします。

服部さんが感じていた「きらきら基金」に関わる人たちの姿

「ごっちや煮のおもしろさにあふれるまちづくり」ができるといいなあと、思っているのです。^^; まちは、いろいろな考え方をする、いろいろな立場の、いろいろなつながりを持った人たちがあふれています。そんな人たちが、ちゃんと世の中に貢献することを楽しんでいる姿が見えてくる、そんな方がいいなあと。もちろんものすごくいろいろな分野で、それぞれにかんばっておられるのですけれど、この事業に関わることでお互いが見えてきて、その先に「信頼と輝き」があって、ちょっと目の端にお互いを見ながら、ちょっと手助けしちゃうかなとか、ちょいとだけ入れてもらおうかなとか。つまり、つながりが信頼を呼んで、「やってることもやってる人もかっこいい」。それがいっぱいいろいろなところであふれている「ごっちや煮」のまち。この先、そこから何が出てくるかわからないおもしろさ。この事業は、そんなまちづくりに結びついていると思っています。たぶんそのようにいけていると思います。いろいろな人たちが来てるし、みんななんだかとっても楽しそうです。^^;

～「第1回中部まちづくりパートナーシップ大賞」の応募用紙から



11月26日(土)第8回市民活動応援☆きらきら基金助成事業を
員弁コミュニティプラザで行いました。

参加者は、114名でした。まず開会冒頭に、きらきら基金運営委員会の事務局長服部さんの冥福を祈って黙とうの後、彼を偲んでメモリアル映像が流れました。その後は、いつもの流れで、小笠原代表、いなべ市長、三重県NPO班長よりご挨拶をいただきました。

去年4月より11月までの間に、多くの皆さまから合計99,401円のご寄附・募金をいただきました。ありがとうございました。

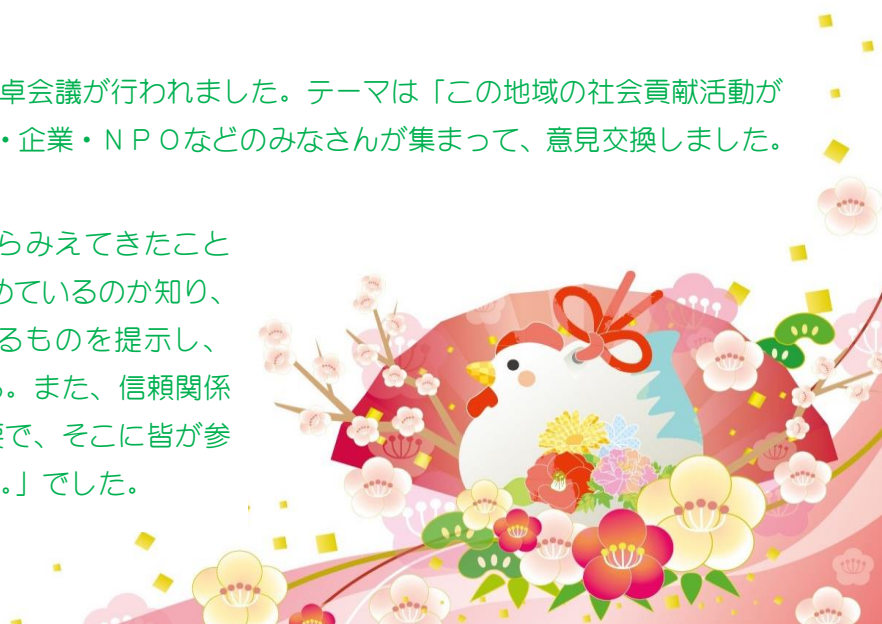
これら皆さまからのご寄付と前年度の繰越金から、原資を150,400円とし、当日寄付77,900円とあわせて、合計228,300円を助成させていただきました。今回のプレゼン団体は、1団体が急用で欠席されたため10団体となりました。

助成額は次のとおりです。

柚井ふれあいサロン	17,500円
特定非営利活動法人太陽の家	27,200円
トライアングルハーティ	20,500円
特定非営利活動法人hareohana	25,300円
童四ツ葉会	23,000円
バルーンアートの会	39,500円
ガールスカウト三重県連盟第9団	13,400円
障がい者支援の輪のはな	23,300円
わくわくフレンズ	31,000円
市民活動応援☆きらきら基金運営委員会	7,600円(当日寄付のみ)

プレゼン団体への寄付投票の後、円卓会議が行われました。テーマは「この地域の社会貢献活動が連携するには」で、この地域の行政・企業・NPOなどのみなさんが集まって、意見交換しました。

円卓会議の委員さんからの意見からみえてきたことは、「連携するには、相手が何を求めているのか知り、それに対して自分たちが提供できるものを提示し、WINWIN(ウィンウィン)になる提案をする。また、信頼関係を作るために分かり合える場が必要で、そこに皆が参加することにより、連携が生まれる。」でした。



円卓会議参加者は（敬称省略）下記の方でした。

三重県男女共同参画・NPO 課 NPO 班長 古川明郎
(株)デンソー大安製作所 総務部 森浩子
(株)アサプリホールディングス 代表取締役社長 松岡祐司
桑名商工会議所 常議員 小笠原まき子
市民安全部次長兼地域コミュニティ課長 松岡孝幸
とういん市民活動支援センター運営委員会 委員長 伊藤公一
いなべ市市民活動センター センター長 辻久好
桑名市市民活動センター協働運営委員会 委員長 志治優美
桑名市社会福祉協議会 次長 竹内茂
いなべ市社会福祉協議会 地域福祉部課長 多湖朋子
いなべこども活動支援センター 理事長 木下裕美子
生ごみリサイクル思考の会 理事長 川島浩
(進行) パートナースhip・サポートセンター 山崎恵美子



円卓会議の後、前回助成を受けた団体の皆さんの報告と、いろいろな事業を企画されている皆さんのアピールがありました。

今回報告された団体は、園芸福祉ボランティア「フラワー」&ひまわり、子ども応援ネットワーク in くわな & ヒッポファミリークラブ、放課後子ども教室ほくせい&いなべこども活動支援センター、多度自然育成の会&桑名三川商工会、桑名女性ネットワーク&mama すきる、子の会&紫陽花倶楽部、諸戸徳成邸の保存・活用を考える会、あ〜ちゃんので、(特)シー・ドリーム 桑ぱん、いなべわらべうたサークルあかまんま、さんでした。

午前中より準備をお手伝いいただいた方、有難うございました。また、いつもながら美味しい豚汁とおにぎりを準備いただいた、員弁地区更生保護女性会の皆さま有難うございました。受付や集計等を手伝っていただいた、いなべ総合学園高校の皆さま有難うございました。

おかげで第8回の助成事業も無事に終えることが出来ました。

主催：市民活動応援☆きらきら基金運営委員会

共催：認定特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター、特定非営利活動法人 いなべこども活動支援センター、特定非営利活動法人 生ごみリサイクル思考の会

後援：三重県 桑名市 桑名市社会福祉協議会 いなべ市 いなべ市社会福祉協議会 東員町 東員町社会福祉協議会 木曾岬町 木曾岬町社会福祉協議会 まちのファンクラブ 桑名商工会議所 桑名三川商工会

助成：日本郵便年賀寄附金

12月18日に市民活動をアピールするために「サンタの行進」を行いました

当日はお天気の良い中、10時から桑名市寺町商店街南口にある京町公園に集合。桑名西高校といなべ総合学園高校の生徒さんたちが、のぼり旗やプレゼントするぬいぐるみ、帽子の準備をしてくれました。

参加者は、クリスマスにちなんだサンタの衣装などを身に着けて集合写真を撮ってから、かえる・こぶたの募金箱とプレゼントとのぼり旗を持って、11時にいざ、サンタの行進開始。

寺町商店街の佐藤さん、きらきら基金代表の小笠原さんを先頭に、高校生、市の関係者、10団体以上の皆さん、約40人が行進しました。子どもたちや募金していただいた方に、プレゼントを配りながら。

北口に予定時間より早く着いてしまったので、もう一度往復してくるということになり、当初より3倍のアピールとなり効果抜群でした。

学生さんを先頭に北口に戻ってきたとき、ちょうど市長さんも到着されて、挨拶をしていただきました。そのあと、寺町の日永屋の佐藤さん、小笠原代表の挨拶と続き、再度記念写真を撮って、お開きとなりました。

今回は募金箱を持っていた行進で、たくさんの募金をしていただきました。ありがとうございました。



早くからお手伝いいただいた、桑名西高校といなべ総合学園の皆さん、運営委員の皆さん、桑名市だけでなく、いなべ市、東員町から駆けつけて一緒に歩いてくださった団体の皆さん、桑名市職員の皆さん、みえNPOネットワークセンターの担当の方、ぬいぐるみを提供して下さったいなべおもちゃ病院の皆さん、参加できないけれどメッセージをいただいた皆さん、本当にありがとうございました。

皆さんの応援ひとつひとつが、このきらきら基金を支えてくださっているのだと、実感し、1月21日（土）の第9回きらきら基金助成事業に向けて頑張るエネルギーをいただきました。